



松前町で生きる & みんなで支える

自分たちの町は、自分たちで守る！

松前町消防団第5分団（神崎班・鶴吉班）は、昨年7月に開催された松前町消防団ポンプ操法大会、8月に開催された伊予地区消防操法大会の小型ポンプ操法の部に出場しました。両大会とも優勝することができ、次は今年7月に開催される愛媛県消防操法大会に伊予地区代表として出場します。



☆ 第5分団の選手のみなさん ☆



全力疾走中の指揮者：池内 泰介 班長



伝達、終わり!!

筒先員、交代!!

消防操法大会は、「消防人としての心構えを培い、迅速かつ確実、安全な消防活動に必要な『心・技・体』の基本を養うとともに資機材取扱い方法の習得、団員の士気と消防精神の高揚」を目的として隔年で開催されています。

消防団員は「**地域住民の安心・安全**」「**自分たちの町は、自分たちで守る**」という強い精神のもと、日夜厳しい訓練に励んでいます。

重信川では毎年、アユ、ウナギ、モクスガニなどの稚魚を放流しています。しかし、近年カワウや外来魚による被害に大変苦慮しています。特にカワウの禁猟区では、花

今、内水面を取り巻く環境は非常に厳しいものがあります。地球温暖化の影響か局地的な集中豪雨がある一方で、日照りが続くなど、昔では考えられない事が当たり前の様にどこかで起きています。重信川に於いても中洲には土砂の堆積、また水量の急激な変化が起これ、各所で瀬切れが発生して、魚の移動が出来ない場所が数多くあります。



本多義雄組合長

重信川漁業協同組合

まちの話題 重信川の今

火などで追い払ったり、ドローンカメラを使ってコロナー調査や、飛来調査を実施して、少しでも被害を軽減し、魚類などの保護に努めています。



清らかな重信の流れと魚達、そこにある漁法を守り、子々孫々引き継ぐ事が、我々の使命と考え、出来る事から日々努力しています。



河口付近に飛来するカワウの群れ



この広報誌は、資源保護と環境に配慮して大豆油インキ、再生紙で作成しています。

議会広報常任委員会				
委員長	藤岡 緑	副委員長	金澤 浩	委員
加藤 博徳	稲田 輝宏	影岡 俊範	田中 周作	住田 英次

★議会には、第一に、首長の独走を監視するという役割がある。特に問題が起きていない限り、本当に『チェック機能』を果たしているのか？見えにくいという指摘をよく聞く。★地方では議員が推薦地域や各団体の要望に偏って、バラバラに活動する状況が生まれていると言われている。★議会改革とは党派を越え、町全体の利益のために全議員が結束して働くこと。★各議員の発言と行動を、多くの目で、注視して頂きたい。（金澤 浩）

編集後記